

GLOBIS WAY

グロービス・ウェイ

グロービス・ウェイとは、我々グロービスの存在する意義や大切にしている価値観をまとめた、基本的理念・指針のことです。

■ 経営理念

ビジネスを通しての社会貢献(対社会):

グロービスは、常に新たな価値を創造し、ビジネスにおける新機軸を打ち出し、社会的善のビジネスを通して社会貢献を行なう。

自己実現の場の提供(対個人):

グロービスは、社の内外を問わず、グロービスに関わるスタッフ各自が可能性を信じ、企業家精神を発揮し、相互啓発を通して自己実現できる場を提供する。

理想的な企業システムの実現(対ステークホルダー):

グロービスは、顧客を初め事業に関わる全ての人々の満足度を高め、21世紀のリーダーとして、フェアでオープンな理想的企業システムを構築し、維持する。

■ 事業指針：“3SCH”

Stakeholder Satisfaction

社会、顧客、取引先、社員、債権者、株主等企業と関わりのある全ての会社・人々の満足度を高める

Creativity

常にクリエイティブに。グロービスの独自性を出す

Speed

事業展開・業務のスピードを重視する

High Quality

常に高品質なサービスを提供する

Systematic Expansion

相乗効果を発揮できる事業展開をシステムティックに行う

■ 行動指針：“STRETCH”

Self-development

個人の能力を高めよう

Time Management

時間管理を徹底しよう

Responsibility

業務に対する責任を持とう

Enthusiasm & Enjoyment

仕事に情熱を持ち、楽しもう

Thoughtful Action

行動は早く、良く考えて

Cooperation

皆で協力し合おう

Heartful Communication

コミュニケーションは心を込めて

■ ビジネス・ウェイ

BROAD ではなく「FOCUS」

資源集中: 広範な業務領域を持たずに、重要な限られた領域群にのみ資源を集中する。

ブランド力: 国際的に強いブランドネームによる強みを確立し、維持する。

相乗効果: 相乗効果を発揮させて、競合他社への競争戦略を確立して、常に勝てる体制を整える。

BIG ではなく「POWERFUL」

外部資源の有効活用: アウトソーシングを徹底して、最小限の優秀な人材を擁して、最大の効果を発揮する。

NO.1指向: グロービスが定義したマーケットでは常にNO.1に。

収益性の追求: 売上高拡大とともに、或いはそれ以上に収益性の拡大を追求する。

MASS ではなく「SATISFIED CUSTOMER BASE」

満足した優良顧客ベース: マス・マーケティングではなく、フォーカスしたターゲットにマーケティングして、データベースを活用しながらワン・オン・ワンにニーズを見極めながらアプローチする。質の高いサービスを提供して、満足した優良な顧客(グロービスのファン)を広げていくことに重点を置く。

CLOSE ではなく「OPEN」

外部とのオープンネットワーク指向: 組織・システムを常にオープンにし、外部スタッフと内部とをボーダーレス化して、多くの方々とネットワークを組み、優秀な外部の力を有効に活用する。

組織・情報・議論のオープン性: 情報をオープンにし、議論もオープンに行い、なるべく多くのスタッフが意志決定に参加できるように努力する。

異質性: 異質な人材を好んで採用して、異質と異質との融合により、クリエイティビティーを重んじる新たな企業文化をつくる。

FIXED ではなく「FLEXIBLE」

分権化によるフラットなネットワーク型組織: 理念・ビジョン・基本戦略という共通基盤をもとに、各部門・各チーム・各人に積極的に権限を移譲し、各自が主体的に動きながらも、全体として見れば秩序がある組織を目指す。

変化適応型組織: 成長ステージ、経営環境、ビジョン・戦略の変更等に臨機応変に対応する柔軟な組織・人事システム・企業文化を構築・醸成する。